

取付概要図

※本面は取付概要図です。実際の取付にあたっては、必ず表面の「TE800取付マニュアル」記載の内容に従って作業していただくようお願い致します。
 ※本品のP/N検出データはバッテリー交換などで、本品の電源が断ち切られた際には消去されます。そのような場合は本紙裏面 ⑧ を参照の上、P/N検出データの再設定を行なってください。

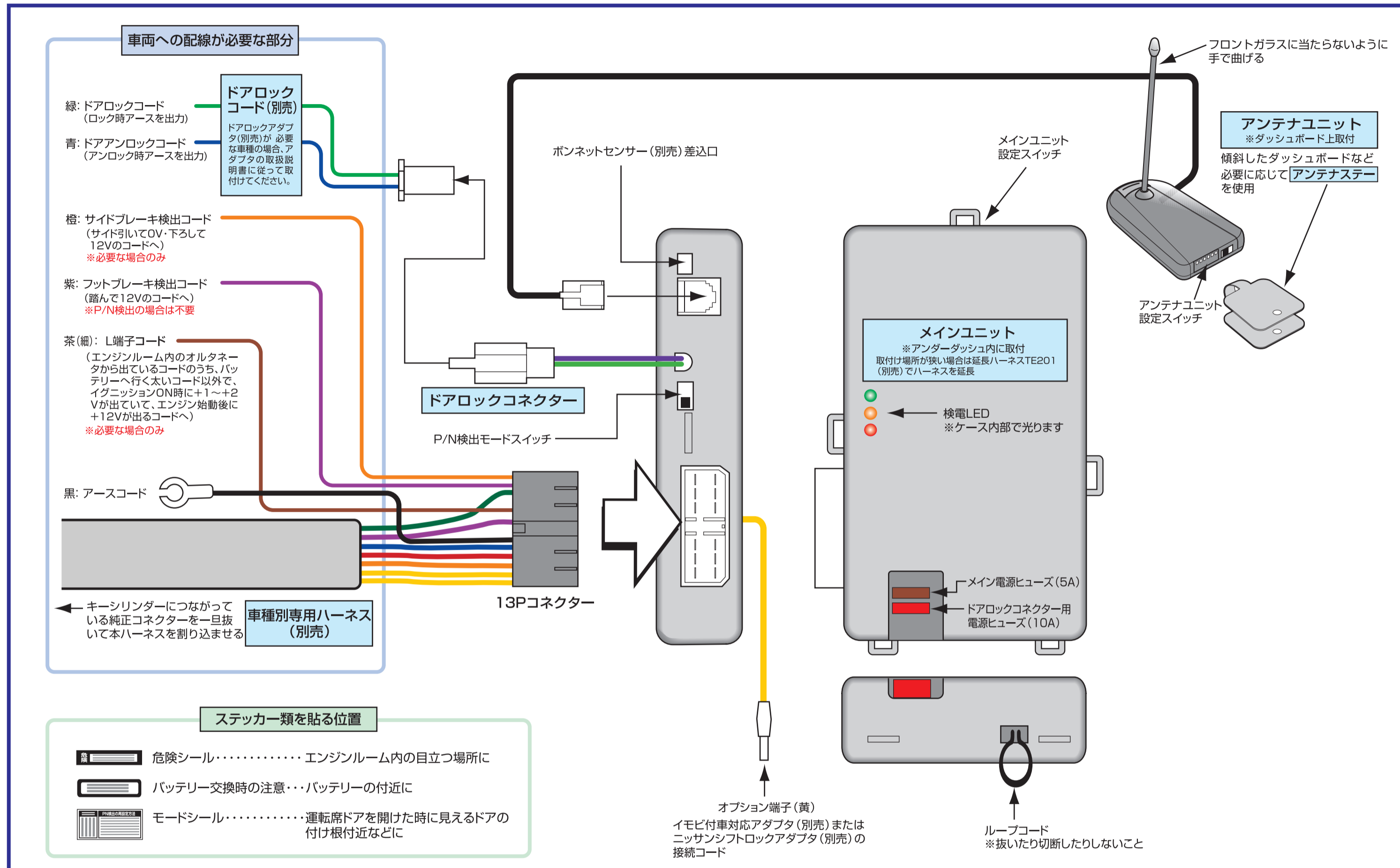
検電LEDの発光色

- 緑: IG
→ イグニッションONで点灯
- 橙: L端子
→ L端子接続時、エンジン始動で点灯
- 赤: フットブレーキ
→ フットブレーキコード接続時、踏むと点灯
(イグニッションONで薄暗く点灯する場合がありますが、異常ではありません。)

ハーネスの各種コード差し込み場所

サイドブレーキ検出コード(橙) L端子コード(茶)

(コード側から見た図)
(ロックピンを一旦抜いて入れる)



アンテナユニット設定スイッチ

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|------|--------|----------|--------|------------|-----------|
| ID書込 | セル回転時間 | アイドリング時間 | グロータイム | (5・6両方で3分) | ターボタイマー時間 |
| 通常 | 短め | 15分 | 8秒 | 0分 | 0分 |
| 書込 | 長め | 30分 | 5秒 | 1分 | 2分 |
| P40 | P24 | P25 | P26 | P27 | |

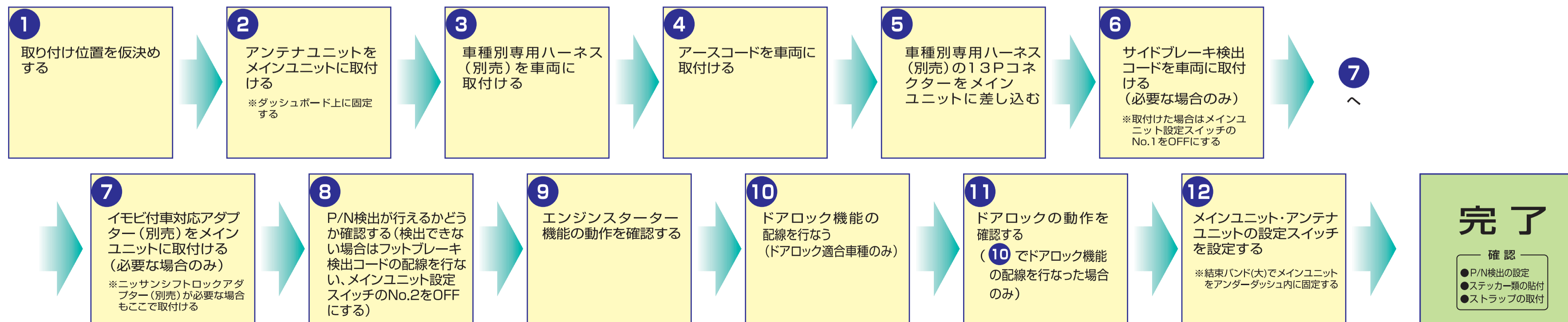
色の色は、工場出荷時標準設定です。

メインユニット設定スイッチ

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|----------------|-----------|--------|-------|----------|----------|----------|-----------|
| サイドブレーキ検出キャンセル | フット/P/N切替 | ホンダABS | ノイズ検出 | スターターカット | (使用しません) | (使用しません) | ボンネットセンサー |
| しない | フット | 非装着車 | しない | 使用しない | — | — | 使用する |
| する | P/N | 装着車 | する | 使用する | — | — | 使用しない |
| P30 | P31 | P32 | P33 | P34 | | | P35 |

取付手順

※車両への配線を行なう際は、不意のショートを防ぐためバッテリーの⊖端子を外しておいてください。
 ※余った配線類はショート等防ぐために確実に絶縁処理を行なってください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。



★取付に関してのお問い合わせはこちらまでどうぞ...

■サービスセンター
 ☎(03)3320-9579(代表)
 FAX.03-3320-9428
 〒164-8611 東京都中野区弥生町3-35-13

TE800 取付マニュアル

※本品のP/N検出データはバッテリー交換などで、本品の電源が断ち切られた際には消去されます。そのような場合は本マニュアル ⑧ を参照の上、P/N検出データの再設定を行なってください。

※本品の取付けは、必ずこの手順に従って行なってください。

※FAXから車種別ビットマニュアル（配線情報）を取出すことができます。詳しくは店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。（誠に勝手ながら用意が出来ていない車種もございます。また、ビットマニュアルはオプションなど全ての配線を網羅するものではありませんのでご容赦ください）

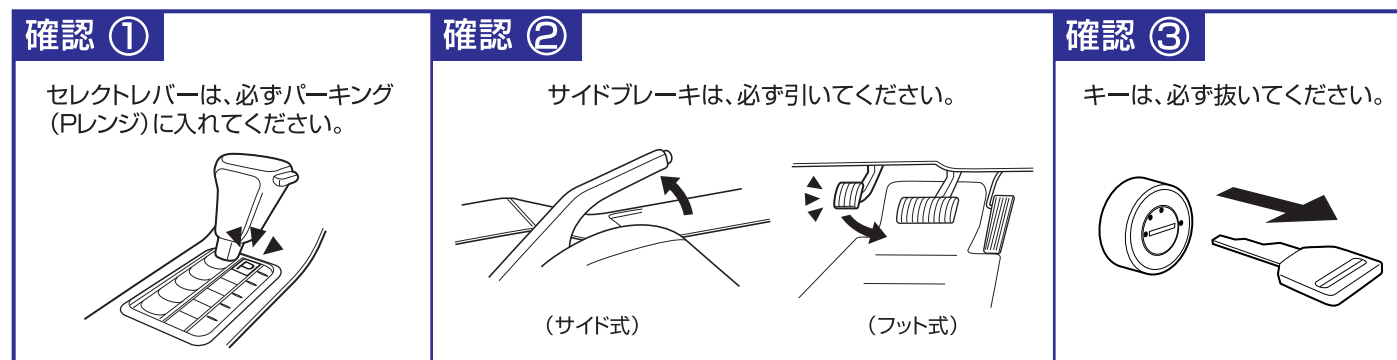
※必要に応じて車両部品の取外しや加工が必要になります。

※車両配線への接続を行なう際は、ショート等を防ぐため、車両バッテリーのマイナス端子を外した状態で行なってください。お守りいただけない場合、以下のような危険がありますのでご承知置ください。

▼通電中のコードをワンタッチコネクタでカシメる際、カシメ工具（プライヤー）が車両ボディ（アース）に接触すると、プライヤーを通じてショートする恐れがあります。

▼各コネクタを差し込む際、ドライバーなどの金属物で押し込んだ場合、コネクタの端子間でショートする恐れがあります。

※余った配線類はショート等を防ぐために確実に絶縁処理を行ってください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。

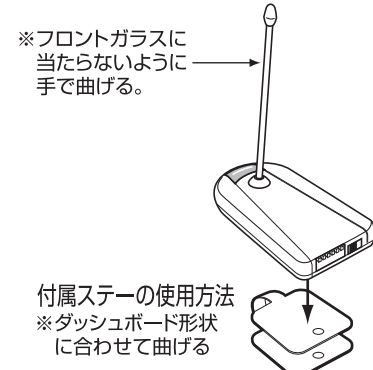


① 取付け位置を仮決める（この時点では車両への固定は行なわないでください）

車両に合ったおおよかな取付け位置を決めておきます。運転操作や視界の妨げにならないよう注意してください。アンテナユニット……ダッシュボード上に固定する位置を決めます。エアバッグ等の動作を妨げないよう注意してください。また、ダッシュボード上が傾斜している場合は、付属のアンテナステーを使用して取付ける事ができます。メインユニット……アンダーダッシュ内に固定する位置を決めます。設定スイッチなどが切替しやすい位置に取付けるとメンテナンスがしやすくなります。

② アンテナユニットをメインユニットに取付ける

アンテナユニットのコードを、ダッシュボード上からアンダーダッシュ内に引き込み、コネクタをメインユニットに差し込みます。配線を取り回した後、アンテナユニットを両面テープでダッシュボード上に取付けます。取付け場所の傾斜がきつい場合などは付属のステーを曲げて取付けてください。（両面テープはアンテナユニット底面の技術適合証明ラベルを避けて貼りつけてください。）



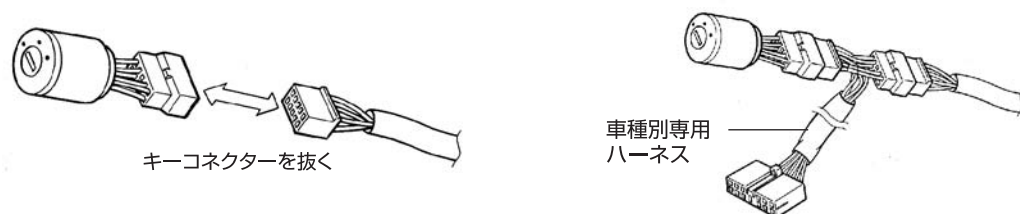
③ 車種別専用ハーネス（別売）を車両に取付ける

車両のキーコネクタを抜き、その間に車種別専用ハーネスを接続します。

注意 車種別専用ハーネスの接続位置は「キーシリンダー裏」もしくは「キーシリンダー裏から出ているコードにつながっているコネクタ」です。それ以外の場所に接続すると車両故障の原因となりますのでご注意ください。

注意 コネクタはしっかりと奥まで差し込んでください。差し込みが浅い場合、車両故障や動作不良の原因となります。差し込んだら、接続部を絶縁テープで巻いてください。

参考 ハーネスの長さが短く、メインユニットを①で仮決めした位置に収納できない場合は、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してハーネスを50cm伸ばすことができます。



④ アースコードを車両に取付ける

車種別専用ハーネスのアースコードを、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めします。

注意 アースが不完全であることが動作不良につながるケースが多いため、接続場所には充分注意してください。

注意 オーディオ、ナビゲーション等、他の電装品と同じ場所にアースコードを取付けしないでください。作動不良や、オーディオのメモリーが消失する場合があります。

⑤ 車種別専用ハーネス（別売）の13Pコネクタをメインユニットに差し込む

メインユニットに車種別専用ハーネスの13Pコネクタをしっかりと差し込みます。

車種別専用ハーネス接続の確認方法

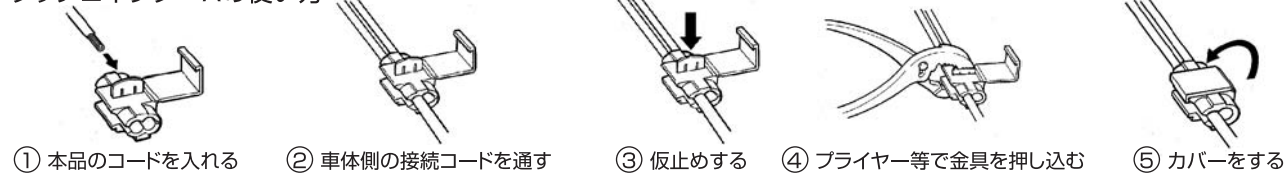
車両のキーをONの位置まで回し、検電LED（緑）が点灯すれば車種別専用ハーネスの接続は正常です。点灯しない場合は、車種別専用ハーネス品番・接続位置・コネクタのゆるみ・アースの状態を確認してください。

参考 ハーネスの長さが短く、メインユニットを①で仮決めした位置に収納できない場合は、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してハーネスを50cm伸ばすことができます。

⑥ サイドブレーキ検出コードを車両に取付ける

車種別専用ハーネスのサイドブレーキ検出コード（橙）を、「車両のサイドブレーキ（パーキングブレーキ）を掛けたときに0V」かつ、「解除したときに12V」となるコードにワンタッチコネクタAで接続します。（寒冷地などで、駐車時にサイドブレーキを使用しない場合は接続する必要はありません。）サイドブレーキ検出コードを接続した場合は、メインユニット設定スイッチNo.1「サイドブレーキ検出キャンセル」をOFF（上側）にしてください。※サイドブレーキ検出コードが付いていないハーネスの場合、ハーネス同梱のコードと説明書に従って13Pコネクタの指定位置に差し込んでください。

ワンタッチコネクタAの使い方



⑦ イモビ付車対応アダプター（別売）をメインユニットに取付ける

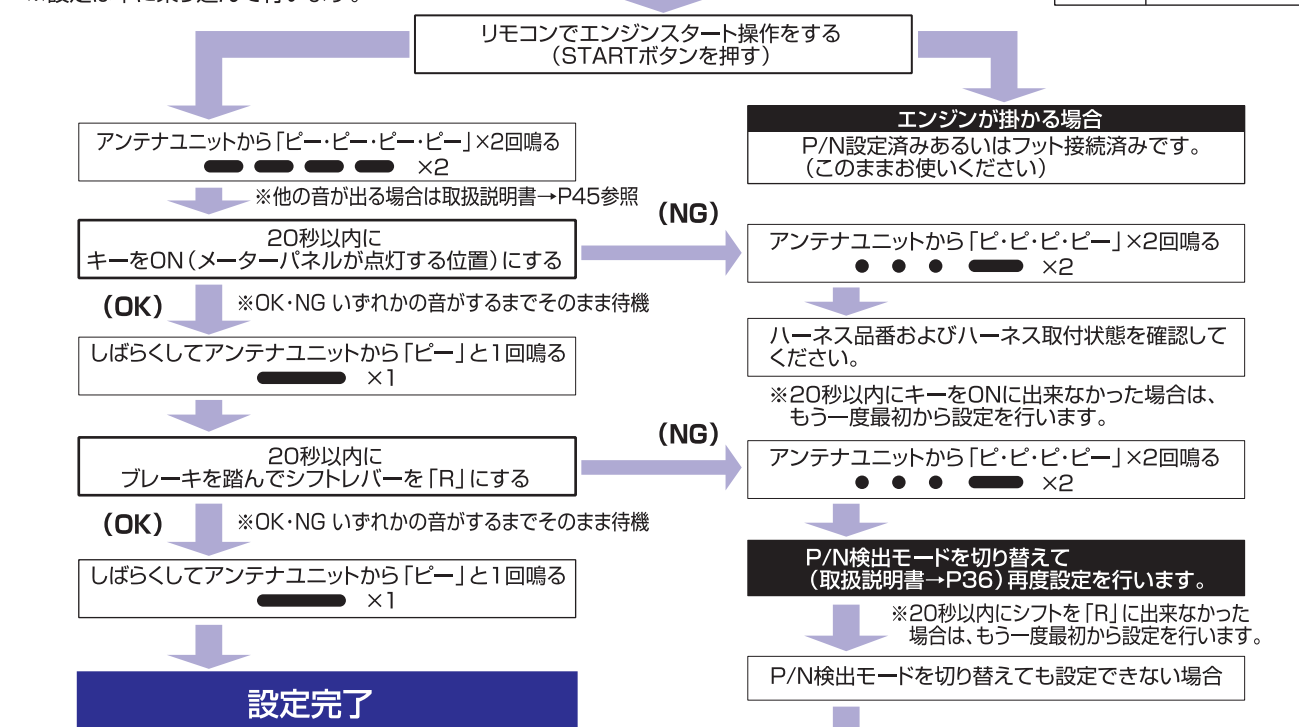
（ニッサンシフトロックアダプター（別売）が必要な車種もこの時点で接続を行ないます。）

純正イモビライザー装着車の場合のみ、イモビ付車対応アダプター（別売）が必要です。イモビ付車対応アダプター（別売）の取扱説明書を参照の上取付けてください。また、各アダプターの取扱説明書記載の「リレーボックス」が本品の「メインユニット」に相当しますので取付けの際はご注意ください。

⑧ P/N検出が行なえるかどうか確認する

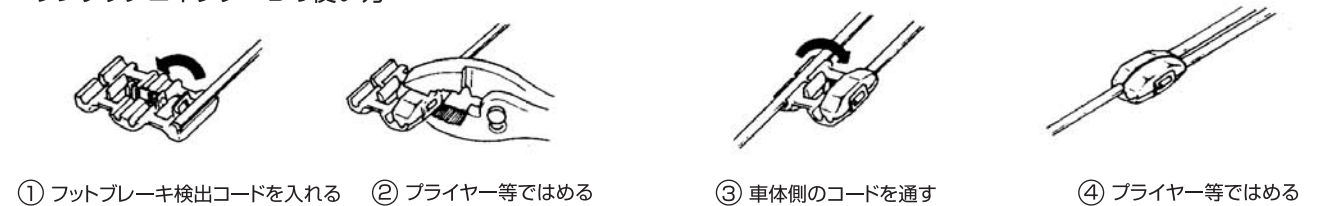
<P/N検出データの設定手順>

※設定は車に乗り込んで行います。



P/N検出の設定ができない車です。車種別専用ハーネスの「フットブレーキ検出コード」を、「車両のフットブレーキを踏んだときに12V」かつ、「離れたときに0V」となるコード（通常はブレーキペダルの根元にあります）に、付属のワンタッチコネクタBで接続します。正常に接続できた場合は、フットブレーキを踏んだ際にメインユニット内の検電LED（赤）が点灯します。また、フットブレーキの配線を行なった場合は、メインユニットの設定スイッチNo.2（フット/PN切替）を「フット」（OFF側）に切り替えてください。

ワンタッチコネクタBの使い方



⑨ エンジンスタート機能の動作を確認する

1. 車両のシフトレバーを「P」の位置にして車両のキーを抜き、サイドブレーキをしっかりと掛けます。
2. リモコンでエンジンスタートの操作をします。（取扱説明書→P17）
3. エンジンが正常に始動するか確認してください。
4. エンジンが始動しない場合は取扱説明書→P44の「エンジンスタート機能が作動しない場合」を参照の上、設定などを確認してください。

⑩ ドアロック機能の配線を行なう（ドアロック適合車種のみ）

注意 別売のドアロックアダプターが必要な車種は、各アダプターの取扱説明書に従って配線を行ってください。ドアロックアダプター（TE401およびTE402）の取扱説明書には、「本体に付属のドアロック配線キット」と記載されていますが、本品には「ドアロック配線キット」は付属していません。別途「TE202ドアロックコード」をお買い求めの上、配線を行ってください。

注意 車種により、ドアロック機能が使用できない場合があります。店頭の車種別ハーネス適合表で適合を確認した上でお取付けください。適合車種以外の車にドアロックコード（別売）を接続すると車両故障や不具合の原因となります。

1. ドアロックコード（別売）の緑コードを車両のドアロックスイッチを押した時に0V（アースと導通する）、スイッチを離れた時に+12Vになるコードに付属のワンタッチコネクタAで接続します。
2. ドアロックコード（別売）の青コードを車両のドアアンロックスイッチを押した時に0V（アースと導通する）、スイッチを離れた時に+12Vになるコードに付属のワンタッチコネクタAで接続します。
3. ドアロックコード（別売）のコネクタを、メインユニットのドアロックコネクタにしっかりと奥まで差し込みます。

⑪ ドアロックの動作を確認する（⑩でドアロック機能の配線を行なった場合のみ）

車両のキーを抜き、全てのドアを開けてから、リモコンでドアロック・アンロックの操作（取扱説明書→P19・P20）を行ない、正常に動作するかどうか確認します。

⑫ メインユニット・アンテナユニットの設定スイッチを設定する

希望する設定になるように、メインユニットおよびアンテナユニットの設定スイッチを設定してください。設定が完了したら正しく動作するかどうか必ず確認してください。確認後、付属の結束バンド（大）でメインユニットをアンダーダッシュ内に固定します。

完了

※取扱説明書→P13を参照し、ステッカー類や付属品をセッティングします。※P/N検出の設定を確認します。